

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	小牧市			代表者名	山下史守朗
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室行政改革課	連絡先電話番号	0568-76-1113
担当者役職	係長	担当者氏名	森本 雅彦	連絡先E-mail	
住所	485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	デジタル人材育成事業
概要	①下呂市における事例を踏まえた業務DX化に関するアドバイス ②DX人材育成及び業務DX化等のDX推進に関する研修の実施		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 行政手続オンライン化		

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	053K	令和6年7月3日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年6月28日	支援・助言(実地)	13時00分	16時30分	30
				活動時間（分）	180
2-2.	会場名	小牧市役所	最寄駅	小牧	
派遣場所	所在地	小牧市堀の内三丁目1番地	最寄駅からの交通手段	巡回バス	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変よい
上記評価の理由 （どのようなところがよかったか等詳細に）	本市の現状をサービスデザイン目線で分析し、本市が抱える課題をジブンゴトとして捉え、自身の実体験を踏まえた分かりやすい説明をしていただき、解決への方向性を示していただいた。 また、費用をかけることなく取り組める事例もご紹介いただき、大変参考になった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、よろしくお願いいたします。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3			

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	本市では、市民からの申請等を順次オンライン化しているが、申請に対する通知等は依然として紙で郵送するなどアナログが残っており、一気通貫のデジタル化ができていなかった。 今後予定されている郵送料の値上げ対策としても、オンライン通知を検討する必要がある。
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	オンラインで受理した申請等に対して、オンラインで通知を返送できる環境を構築し、今後予定されている郵送料の値上げ対策を行い歳出抑制につなげるとともに、アナログ作業に係る職員の負担軽減を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	成功事例だけでなく失敗事例も含め自身の実体験を踏まえ、本市の上記で記載した課題解決に向けて、アドバイスをいただくとともに、コストをかけずに取り組める事例もご紹介いただいた。また、2回目以降の研修の題材にさせていただくべく、庁舎内の様子を見学していただき、その場で気づいた点をサービスデザインの視点でアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	課題であったオンライン通知について、DX部門職員の理解が深まり、解決の糸口を見出すことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は課題に対するアドバイスをいただいたものであるため、アンケートは実施しておりません。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 予算が必要となるものは次年度に予感を図り推進していく予定であるが、予算がなくとも今年度中に取り組める内容は、順次取り組んでいく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	各課の担当者が担う業務においてDXを活用できるよう理解を深め、手続きのオンライン化を市民等からの申請のみならず、市民等への通知にも導入することで、市民の利便性向上、歳出抑制、職員の業務負担軽減を図る。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

